

まちかどウォッチング



地域に賑わいを

白山地区「節分祭」

2月3日、白山地区の八幡神社で「節分祭」が行われました。白山地区町内会連絡協議会により地域に賑わいを取り戻す目的で初めて実施され、地域の小学生などが大勢詰めかけました。

竹馬やコマ回しなど昔の遊びで地域の人たちと子どもたちが交流した後、「年男」の町内会の役員や小学5年生の児童たちから豆やもちがまかれると、参加者は、われ先にと必死に手を伸ばしていました。



噴火災害の経験活かす

新燃岳噴火に伴う災害派遣出発式

1月31日、市では、宮崎県高原町へ市民生活グループの職員2人を災害派遣する出発式を行いました。

これは、火山災害の経験を活かして、噴火が続く新燃岳のふもとの高原町を支援しようとするもので、市で保管していた降灰袋31,000枚と雲仙・普賢岳災害の記録集を現地へ届けました。派遣された職員は、2月2日までの滞在中、少しでも被災地を支援しようと噴火や避難の状況に関する説明を受けて視察を実施し火山灰の処理や避難所に関するアドバイスなどを行いました。



子育てにやさしいまちづくりとは

子育て応援講演会

2月5日、市制施行70周年記念事業として、子育て応援講演会を開催しました。女優の石井めぐみさんを講師に招き「親と子の絆、子育てにやさしいまちづくり」と題して講演をしていただきました。

障がいを持つ子のために奔走した経験談から「立場の弱い人がいれば誰でも助けることができる」という気持ちを持つことの重要性がよくわかり、誰もが住みやすいまちにするためにそれぞれの立場で何ができるのかを、あらためて見直す良い機会となりました。



真の国際化とは

国際交流講演会

1月23日、市制施行70周年記念事業として、国際交流講演会を開催しました。JET日本語学校理事長の金美齢さんを講師に招き「21世紀の提言 新しい世代を育てる」と題して、講演をしていただきました。

参加者は、国際交流で注意すべき点や若い世代を育てるということについて、実際の経験談を交えての話しに、今の日本がどのような状況で、これからどうあるべきなのか、国際交流を考える貴重な機会となりました。